

小中高校（初等中等）教育機関向け追加条件

2019年6月26日最終更新

本追加条件は、小中高校（初等中等）の学校環境における生徒へのアドビ製品およびサービス（以下「**生徒サービス**」）の使用およびデプロイメントについて規定します。本追加条件は、アドビ一般利用条件（以下「**一般利用条件**」）<https://www.adobe.com/legal/terms.html>を補完するものであり、これに組み込まれます（本追加条件と一般利用条件を総称して「**本条件**」といいます）。本追加条件の規定が一般利用条件またはアドビのプライバシーポリシー（<https://www.adobe.com/privacy/policy.html>にあります）と矛盾する場合、その範囲については本追加条項が適用されます。本追加条件で定義されていない用語は、アドビ基本利用条件に定義する意味を有します。

1. 追加の定義

1.1. 「学校」とは、www.adobe.com/go/primary-secondary-institution-eligibility-guidelinesで定義される、要件を満たす初等中等教育機関を意味します。たとえば、米国の小中高校は学校です。

1.2. 「生徒」とは、学校の教育課程に登録されている個人を意味します。

1.3. 「生徒アセット」とは、生徒が生徒サービスを使用して作成したファイル、データ、および生徒が生成したコンテンツを意味します。

1.4. 「生徒データ」とは、生徒の個人情報および生徒アセットを意味します。

1.5. 「生徒の個人情報」とは、本条件に基づく生徒サービスの提供中にアドビによって収集されたか、生徒、学校、親または保護者によって提供されたかを問わず、特定の生徒を識別し、もしくは特定の生徒への連絡に使用できる情報、または関連する状況を知らない学校コミュニティの合理的な者が、その情報単独または他の情報と組み合わせた形で、特定の生徒に結び付き、または結び付けることが可能であって、それにより、合理的な確実性をもって生徒を識別できる情報を意味します。米国の法律が適用される範囲で、生徒の個人情報には FERPA (20 USC § 1232 (g)) で定義されている「教育記録」を含むことがあります。

1.6. 「お客様」とは、本追加条件で使用される場合、学校およびその教職員、管理者、または学校に代わって生徒サービスへのアクセスおよび使用を許可されたその他のユーザーを意味します。

2. Enterprise ID または Federated ID のみへの本サービスのデプロイメント

2.1 デプロイメント。生徒サービスは、Enterprise ID または Federated ID を使用してのみデプロイできます。Enterprise ID または Federated ID の使用は、お客様に対する当社の生徒のプライバシー保護の義務を果たすために不可欠です。また Enterprise ID または Federated ID を使用することで、生徒サービスを管理し、かつ本サービスを通じて提供されたまたは生成された生徒データを確実に維持することができます。いかなる場合においても、生徒の個人用 Adobe ID にデプロイした場合、生徒データの使用や保護に関する当社の義務はすべて無効となり、お客様が Adobe ID を使用して生徒サービスのライセンスをデプロイしたことに関する、プライバシーまたはその他の申し立て等について、お客様はアドビを防御し、アドビに賠償する義務を負います。ID の種類について詳しくは、<https://helpx.adobe.com/enterprise/using/edu-deployment-guide.html> を参照してください。

2.2 生徒サービスの使用。生徒サービスのすべてのユーザーは、アドビ基本利用条件（利用規定を含むがこれに限定されない）の適用規定を遵守する必要があります。

3. データの所有権と許可されたアクセス

3.1. 生徒データの同意と権限。生徒サービスを使用し、かつ生徒サービスを生徒に提供することにより、お客様は、(i) お客様が生徒データをアドビに提供し、またはアドビに対して生徒サービスを通じて生徒データを収集する許可、および生徒サービスを提供する目的で生徒データを処理する許可を与える権限があること、ならびに (ii) 学校による生徒サービスの使用について、かかる開示または同意が適用法または学校の契約で義務付けられている範囲において、お客様がお客様の学校、学校のエンドユーザー、生徒の保護者、またはその他の必要な個人に対して適切な開示を行い、同意を得たことを表明および保証したものとみなされます。

3.2. 所有権と管理。アドビは、本条件に記載された生徒サービスを提供する目的で、生徒データにアクセスし処理します。アドビと学校との間で、学校は本条件に従ってアドビが処理するすべての生徒データに対するすべての権利、権原、および利益を所有し、アドビは、生徒サービスに定めがある場合、および本条件に特段の定めがある場合を除き、かかる生徒データを所有、管理、またはライセンスしません。

4. 法令および義務の遵守

4.1. 米国。両当事者は、生徒の個人情報を規定する法律に基づくそれぞれの責任を果たすことに同意するものとし、これには、生徒の個人情報を管理する法律、州の生徒のプライバシーに関する法律および規制、家族教育権およびプライバシー保護法（以下「FERPA」）、20 USC § 1232 (g)、修正生徒の権利保護法（以下「PPRA」）、20 USC 1232、および子供のオンラインプライバシー保護法（以下「COPPA」）、15 USC 6501-6502 を含むがこれに限定されないものとし、

(a) **FERPA の遵守。**お客様が米国在住の場合、アドビ社は生徒データを FERPA およびその施行規則で定義されている正当な教育上の利害を持つ学校職員として収集および処理し、34CFR 99.33 (a) によって学校職員に課される制限および要件を遵守することに同意します。

(b) **COPPA の遵守。**お客様が米国に居住している場合、お客様が 13 歳未満の子供に生徒サービスまたはその他の Adobe アプリケーションへのアクセスを許可する限りにおいて、お客様は、本条件に定

める目的のためにアドビが13歳未満の生徒から情報を収集および処理できるように、必要なすべての同意を得る責任を単独で負うものとし、かつお客様がCOPPAに従ってそのような同意を提供する権限を有することを表明および保証するものとします。お客様は、13歳未満の子供にアクセスを許可する生徒サービスの構成および生徒サービスの機能が、COPPAに準拠した方法での使用に適切であることを確認する責任を負います。

4.2. 現地法の遵守。 学校および生徒サービスの使用には、お客様が居住する地域の法令が併せて適用されることがあります。お客様は、ご自身の地域の法令の下で生徒サービスの利用が可能であることを確認する責任があります。具体的には、(a) 学校による生徒サービスの利用およびデプロイメントに関し、かかる現地法令から生じる法的義務が適用されるかどうかを判断すること、(b) 保護者または法定後見人から必要な同意を得ること（かかる同意が必要な範囲において）、および(c) 生徒サービスが学校にデプロイされ、これらの現地法に準拠する方法で生徒が利用できるように生徒サービスを構成すること、について、学校の義務を負います。

5. 生徒データの処理

5.1. 生徒データの使用許可の範囲。 アドビは、(i) 本条件の意図に従い、または本条件の別段の定めに従って、生徒サービスを提供すること、および本契約に別段の定めがある場合を除き、(ii) 法律の許可されているとおりにアドビのWebサイト、サービス、およびアプリケーションを保守、サポート、評価、分析、診断、改善、および開発すること、(iii) 本規約に基づく権利を行使すること、(iv) 保護者、要件を満たす生徒、または学校の同意によって許可された事項、および(v) その他適用法で認められている事項、の目的でのみ、生徒データを使用、転送、配信、変更、複製、表示、および保存することができます。

5.2. 匿名化されたデータの使用。 本条件にこれと矛盾する規定がある場合でも、お客様は、アドビが匿名化したデータを使用できることに同意するものとし、これには、すべての直接、間接の識別子が除去され、個人を識別する目的で情報を使用できると信じる合理的な根拠がない場合、および生徒サービスへのアクセスと使用に関するデータを適法な目的で使用する場合（教育サイト、サービス、またはアプリケーションの開発、調査、改善、および生徒サービスの有効性の実証を目的とする場合を含むがこれに限定されない）が含まれます。法律で許可または要求されている場合を除き、アドビはかかるデータの再特定化を試みないことに同意し、かつ受け取り側が、その情報の再特定化を試みないことに書面で同意しない限り、第三者に開示しません。

5.3. マーケティングと広告。 アドビが、生徒データを(i) 保護者の同意がある場合を除き、生徒や保護者に対し、広告を通知し、またはオンラインのダイレクトターゲティング広告の対象とする目的、(ii) 生徒サービスの提供、または学校もしくは生徒が許可した以外の目的で、生徒のプロフィールを蓄積する目的、および(iii) 学校もしくは保護者が許可した以外の、または適用法が認める以外の他の商業目的で使用することは禁止されます。上記にかかわらず、お客様はアドビが次の活動を行えることに同意します。(a) 生徒データを使用せずに、製品を保護者や学校従業員に対して直接、製品やサービスのマーケティングや広告を行うこと、(b) 生徒や他の個人のその現在のオンライン位置への訪問に基づいて、生徒またはその他の個人に直接オンライン広告を行うこと（ターゲット広告を配信する目的で

長時間生徒のオンライン活動を収集する場合を除く）、（c）生徒データを使用して、教育製品やサービスを保護者や学校の従業員に推奨すること（かかる推奨が第三者からの支払いまたはその他の対価に全面的または一部基づく場合を除く）、（d）集約的または匿名化した情報を使用して、アドビによるマーケティング、広告、その他の商業的活動に情報を提供し、影響を与え、実現すること、（e）適応学習や生徒の学習のカスタマイズの目的で生徒データを使用すること、（f）生徒に対して、生徒サービスのアカウントや使用に関する情報を電子メールやその他の方法で送信すること。

5.4. 生徒データの保存と削除。 学校は、生徒データを変更または削除するために、いつでも Adobe Admin Console から生徒のアカウントにアクセスできます。教育目的で不要になった生徒データを学校サービスから削除することは、お客様の責任です。アドビとの契約が終了した場合、生徒が個人アカウントに生徒アセットをダウンロードして保存できるように、アドビは生徒データを合理的な期間保存します。契約終了時に残っている生徒データを削除することは、学校の責任です。学校が生徒データを削除しない場合、アドビは、生徒データを取得した目的においてそれがなくなるときに、生徒データを廃棄または削除します。アドビは、生徒の個人アカウントに転送された、匿名化データまたは生徒アセットを削除する義務はありません。

6. 生徒データへのアクセスまたは開示の制限

6.1. 許可された開示。 アドビは、契約に基づいて取得したデータを個々の生徒を特定できる方法で販売、開示、転送、共有、または貸与しません。ただし（i）契約に定められた範囲内である場合、または（ii）学校、生徒の保護者、または同意を与えることができる法定年齢以上の生徒の同意もしくは裁量による場合学校が利用する機能によっては、生徒が生徒サービスの機能を使用して、情報を共有したり、公開フォーラムに情報を投稿したりできることがあります。学校の管理者は、Adobe Admin Console でアクセス権や機能のアクセス権を調整するときに、機能が適切に設定されていることを注意深く確認する必要があります。

6.2. 第三者サービスプロバイダー。 お客様は、アドビの請負業者、サービスプロバイダー、代理人が、アドビにサービスを提供する責任に関連して、正当な理由でかかる情報にアクセスする必要がある、かつかかるアクセスが契約上のデータ保護条件に従って行われる場合、アドビがこれらの人々に生徒データへのアクセスを許可する場合があることを承諾し同意します。

6.3. 第三者によるアクセスリクエスト。 学校は、保護者または要件を満たす生徒が、生徒サービスを通じて生成された生徒データへのアクセス、訂正、または削除を要求できる合理的な手順を確立します。学校から要請があった場合、アドビは必要に応じて学校と協力し、そのようなアクセスを容易に行えるように支援します。法執行機関や政府機関などの第三者が、生徒データを求めてアドビに連絡する場合、アドビは学校に直接データを要求するように第三者に告げます。ただし、かかるアクセスが、法的義務または法的手続に従うために、またはアドビのユーザー、従業員、またはその他の人々の権利、財産、もしくは身体的安全を保護するために必要であると、アドビが合理的かつ誠実に判断する場合および判断する範囲においてはこの限りではありません。

6.4. 管理の変更。 アドビが事業用資産の全部または一部を第三者に売却、処分、または譲渡した場合、（i）新しい企業所有者がデータプライバシーに関して本条件で規定されている基準以上の厳格な基準を

適用して生徒サービスを維持および提供する意図があるか、または (ii) アドビが学校に通知して、生徒データの譲渡をオプトアウトする機会を与えること、を条件として、アドビは生徒データを新しい所有者に譲渡することができます。

7. データセキュリティ

7.1. 学校の義務。 学校および生徒サービスのユーザーは、ユーザー名、パスワード、その他生徒サービスと生徒データへのアクセスを得るその他の手段を保護するために合理的な予防策を講じるものとします。学校は、学校のアカウントやアドビのシステムもしくはサービスへの不正アクセスが判明した場合、または疑われる場合は、アドビに速やかに通知するものとします。学校は、アドビがシステムへの不正アクセスに関連するインシデントの調査および対応のために行うあらゆる作業に協力するものとします。

7.2. アドビの義務。 アドビでは、生徒データを保護するために、管理上、技術上、および物理的に合理的なセキュリティ制御を実装しており、生徒データにアクセスできる従業員、または関連するシステム制御を操作またはアクセスできる従業員に対して、データのプライバシーとセキュリティに関するトレーニングを実施しています。しかしながら、当社の取り組みにもかかわらず、100%効果的なセキュリティ制御はなく、アドビはお客様情報のセキュリティを保証することはできません。当社が生徒サービスを通じて収集または受領した生徒の個人情報が、不正アクセスによって窃取された（以下「**セキュリティイベント**」）と判断した場合、当社は速やかに学校に通知し、学校によるセキュリティイベントの調査に合理的な協力を行います。アドビと学校との間で書面による別段の合意がある場合を除き、セキュリティイベントが、適用法に基づく第三者通知要件を満たす形で生徒の個人情報に影響を及ぼすと学校が判断した場合に限り、学校はかかる通知を送信する責任を負います。法律で別段の定めがある場合を除き、アドビは、先に学校に書面で通知することなく、個人情報が影響を受けた個人、規制機関、またはその他の組織に直接セキュリティイベントを通知することはありません。

8. 準拠法

8.1. お客様の学校が米国内の正規の公立小中高校である場合、アドビ基本利用条件にこれと矛盾する規定があったとしても、本条件は、法の抵触に関する法規定を除き、お客様の学校が存在する州の法律を準拠法とします。